

しんぶん 大村洋子

ヨーコ・ヨコスカ・ストーリー♪

2017年 8月10日発行 138号
三浦半島地区委員会 公郷2-21-1
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



今回も横子さん和大村の会話です。
ココからご覧ください。

横須賀の中学校給食 センター方式で本当に大丈夫？

横子さん「もお～、納得できな～い。いったいどうして、こんな結果なの？大村議員。」



大村「中学校給食がセンター方式ってことを嘆いているのですか？」

横子さん「だって、去年の教育委員会がまとめた【望ましい昼食のあり方】は食育の推進とか生徒が楽しく食事ができるとか、すごく良いことが謳われていたわよ。なのに、この結果。がっかりしちゃったわ。」



大村「私もショックです。まさか、教育委員の方々まで、センター方式で全員一致するとは。」

横子さん「確かに、最初の頃は、横須賀に中学校完全給食なんて、共産党以外本気で考えてくれなかったわ。でも、市民の大きな運動があつて、署名もたくさん集まって市長や議会の意識が変わっていった。すごい事よね。」



大村「今となつては、吉田市長が行った「横須賀給食弁当」が不人気だったゆえに、一気に全員喫食と食缶方式が大前提と言えますね。他の自治体で行っているボックスランチ式の給食ははじめから選択肢にも入りませんでしたから。」



横子さん「そうそうはじめは横須賀の中学校給食は生徒に良いもの

をっていう高い理想を掲げていたって感じよね。だから、よけいにセンター方式じゃがっかりなのよ。」



大村「センター方式センター1カ所整備、これでどうだという決め方もかなり強引の感がありますね。複数案を示してもっと論議しても良かったと思います。」

横子さん「私は自校方式が良かったわ。」

大村「委託調査の結果で、校庭や校舎の融通をして工夫すれば、自校方式で調理場を建設できる中学校が全体の半分くらいはありました。」



横子さん「それなら、半分は自校方式で残りはセンター方式にして、混合でも良かったのにね。最初の教育委員会のコンセプトから考えるとそうなると思うけど。」



大村「組み合わせにすると、センター方式の管理・施設の集約化による効果が薄れるとの理由で不採用となりました。取ってつけたような理由です。」

横子さん「センター方式の管理とか施設のことより、生徒の楽しい給食を一番に考えるべきよ。釈然としないわ。」

大村「教育委員会定例会の議案として採決されたので、これは決定であるには違いないのですが、9月に入っても、引き続き議会で特別委員会がありますから、そこでしっかりと質疑をしていきたいと思っています。課題は山積です。」

横子さん「そうね、まだまだ、目が離せないわ。」





ベンキョーの夏 研修会へ参加して議員力を鍛えています

蚊取り線香のコマーシャルみたいですが、自分では「ベンキョーの夏」と称して、主に議会制度に関する研修会に通っています。

先日の研修では二元代表制と議院内閣制について学びました。地方議会では首長も議員も選挙で選ばれます。国政とは違いますね。どうしてこのように違いがあるのかという理由に、実はGHQの意向が色濃く反映されていると学び大変驚きました。地方議会では時に「ねじれ」が生じます。横須賀市政も、吉田市政の時には「ねじれ」でしたが、上地市長に変わってどうなるか・・・もつとも、私たちのスタンスは、是非々々で変わりませんが・・・。

9月議会の日程 傍聴に来てください

2018
年度

予算要望づくりを始めています
ご意見をお寄せください

* 請願・陳情の締め切りは 8/29(火)です

- 8/31(木) 10:00~事前議運
13:00~議会制度検討会
- 9/4(月) 10:00~議会運営委員会
14:00~本会議 市長所信表明
- 9/7(木) 10:00~議会運営委員会
- 9/8(金) 10:00~本会議 代表質問
- 9/11(月) 予備日 (本会議 2 日目)
- 9/13(水) 10:00~教育福祉・都市整備
分科会 / 常任委員会
- 9/15(金) 10:00~総務・生活環境分科
会 / 常任委員会
- 9/22(金) 10:00~予算決算理事会
11:00~予算決算常任委員会
- 9/26(火) 10:00~議会運営委員会
- 9/27(水) 10:00~本会議
- 9/28(木) 10:00~本会議

終わり次第予算決算常任委員会

9/29(金) 10:00~給食特別委員会

以上が前半です。

この後から決算議会に入ります。

最終日は 10/16(月)です。

例えば・・・

〇〇を直してほしい

こんな施策や事業があればいいのになあ

〇〇は便利だから続けてほしい などなど

インターンシップの学生を受け入れ

関東学院大学と横須賀市議会はパートナーシップ協定を結んでいます。そんなことから、先日 4 日間、3 年生の男子学生 2 人をインターンシップとして議員の仕事の体験学習で受け入れました。

私たち共産党市議団も半日受け入れをし、久里浜の石炭火力発電所建設についての学習集会打ち合わせの会議に参加してもらいました。

参加した K 君は「車も服装も普通で、対応が丁寧だったので政治家のイメージが変わった」との感想でした。このところの報道の影響があるのでしょうか。問題発端となった兵庫県の号泣県議は、大学のテキストにも登場しているとのことでした。若い人の模範となれる議員でありたいものだと改めて感じ、こちらが勉強しました。